

学生と地域で考えるまちづくり会 [札幌市推薦] (北海道札幌市)

<http://horokita.sakura.ne.jp/>

代表者名：梅谷 奈央 団体構成員数：49名

札幌市北区幌北地区には、北海道大学の学生をはじめ、若い世代の人が多く住んでいます。また、外国人留学生も数多く住んでおり、地域の幼稚園や小学校などに留学生の子供が通園・通学しているなど、国際色の豊かな若者の地域です。このような地域事情を踏まえ、幌北地区の地域まちづくりの拠点ともいべき「幌北まちづくりセンター」の情報集約・ネットワーク機能を十分に活用して、学生が地域と密接につながりを持ち、新たなまちづくりのムーブメントを生みだしていくことを目的として、平成19年に「学生と地域で考えるまちづくり会」が設立されました。

まちづくり会は、学生が、連合町内会と連携して幌北児童会館、幌北小学校、民間シンクタンク、幌北まちづくりセンターなどの支援を受け、まちづくりに積極的に関わりながら、幌北地区の歴史や地域活動にフォーカスを当てたフォトブック「ほらほら幌北」の作成や地域留学生と地域住民の交流機会の創出、地域情報を発掘し、発信するホームページの作成・運営などを通して、新たな活力を地域に吹き込み、地域課題解決や地域の魅力の再発見に向けた協働の取組を進めてきました。

平成29年度は結成から10年の節目の年となり、今までの活動を総括するとともに、これからも地域とともに活動していこうという思いを共有すべく、記念リーフレットの作成や町内会との共催による10周年記念式典などを行いました。

■選考委員のコメント

若者が若者同士だけではなく、若者と地域との連携のハブ機能を担っていることに大きな価値があります。特に外国人留学生と地域の交流は、ボーダレス化が進む社会において、“そこにいる”人たちが相互理解のもとに手をつないでいく草の根の活動として大変重要と考えられます。また、地域行事に企画段階からかわり、学生と地域が共に考える町づくりの仕組みができあがっています。

[受賞者からの一言]

学生と地域で考えるまちづくり会「ネオロス幌北」は平成29年度に10周年を迎えました。この節目の年に受賞できたことを嬉しく思います。

今日に至るまでに私たちの先輩方は幾多もの困難を乗り越えてこられたことでしよう。また学生を温かく受け入れ、支えて下さる地域の方々には日々感謝しています。

学生として地域のために出来ることを考え、より一層幌北地区を盛り上げていきます。

「ネオロス幌北」が今後ますます発展していけるよう、さらに地域に興味をもつ若者を少しでも増やせるように、力を尽くしたいと思います。



幌北ふるさと夏祭りの様子



幌北ミニミニ雪祭りの様子



フォトブック「ほらほら幌北」



幌北ウォーキング大会の様子



表彰状の授与